

ナショナルバイオリソースプロジェクト実験動物メダカ  
平成17年度 第2回研究運営委員会議事録

日時：平成17年8月18日(木)13時～15時

場所：名古屋大学グリーンサロン東山会議室

出席者：長濱嘉孝(議長)、井口泰泉、石川裕二、工藤 明、近藤寿人、武田洋幸、堀 寛、山崎由紀子、若松佑子

オブザーバー：荒木和男、木下政人、田中 実、安増茂樹、古賀章彦

文部科学省研究振興局：野島久美恵、竹内佑介

事務局：橋本寿史

欠席者：岡本 仁、酒泉 満、柴田直樹、三谷啓志、(以下オブザーバー)成瀬 清

本日の議事について

長濱議長により、議事内容の確認と議論の進め方が確認された。

平成17年度第1回研究運営委員会議事録の「メダカ遺伝資源小委員会」に関する記述について、三谷委員よりメールにてよせられた意見が紹介された。「メダカ遺伝資源小委員会」の在り方については次回以降の委員会で議論することとした。したがって、「メダカ遺伝資源小委員会」発足までの間、メダカ遺伝資源小委員会準備委員会としてメダカバイオリソースの将来構想を議論することとした。

議事

1. 平成16年度評価報告書の検討と対応

評価報告書(平成17年3月)に基づいて若松委員から説明があった。

- 将来ユーザーになりうる医学分野等の研究者を運営委員として迎えることを検討してほしいとの要請があった。
- 国内外でメダカの需要がある環境分野での利用を促進できるように、Web サイト等を介した情報発信に積極的に取り組むべきであるとの意見があった。
- 文部科学省野島氏より、「メダカ」プログラムに対する評価について、提供数を増やす努力が必要であるとの指摘があった。また、バイオリソース事業を研究から明確に区別するようにとの要請があった。

2. 「メダカシステムの定義と表記法」の改訂の進捗状況

石川委員より、マウスの例を参考に作成された「メダカシステムの定義と表記法」(案)(05年8月11日)が示された。近交系の集団交配はマウスではほとんど例がないため、メダカの近交系を集団交配した場合の表記法についてはさらに検討する必要があるとのことだった。

3. メダカデータベース構築の進捗状況

山崎委員より、NBRP メダカのWeb サイト構築の進捗状況について報告があった。トップページのデザインや系統リストへの情報の追加に関する説明がされた。また、Medaka Atlas と anatomy ontology(ドイツ Henrich 氏)を対応させるなど、NBRP メダカの Web サイトでも ontology に取り組むことで合意した。

4. 「メダカ生物遺伝資源の標準化に関する国際シンポジウム」準備の進捗状況

若松委員よりシンポジウム準備の進捗状況と案内ポスター原案が示された。